



各 位

平成 28 年 10 月 31 日

会 社 名 ネットイヤーグループ株式会社

代表者名 代表取締役社長 石黒 不二代

(コード番号 3622 東証マザーズ)

問合せ先 取締役財務経理部長 播本 孝

(TEL. 03-6369-0550 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日に公表した通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,500	200	200	124	18 円 02 銭
今回修正予想 (B)	5,800	△200	△200	△280	△40 円 65 銭
増減額 (B-A)	△700	△400	△400	△404	—
増減率 (%)	△10.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	6,801	146	143	74	10 円 89 銭

#### 2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間（上期）の業績は、売上高、営業利益ともに前年同期比で著しく減少しております。

(本日発表の「平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算短信」をご覧ください)

上期の業績が当初予想より悪化したこと、また現状の営業状況も踏まえ、通期での挽回は困難と判断されることから、通期の業績予想を修正するものであります。なお、通期の業績予想の上期、下期の内訳は以下となります。

【通期業績予想の上期・下期の内訳】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
上期実績	2,327	△315	△315	△360
下期予想	3,473	115	115	80
通期予想	5,800	△200	△200	△280

上期におきましては、関連会社のソーシャルメディア関連サービスやクラウドアプリ「rakumo」の売上高は前年同期比で増加しているものの、昨年度における当社の売上高の大きなシェアを占めていた大型プロジェクトが大幅に縮小したことから、連結の売上高が減少しております。また売上高の減少に伴い、利益も減少しております。なお、昨年度に受注損失引当金を計上した開発遅延プロジェクトは、当初第3四半期までに収束する見通しでしたが、第4四半期に遅れる見通しです（損失額の見込みに変更はありません）。

上期の業績悪化の主な理由として、以下が挙げられます。

- ① 大型プロジェクトに偏重して来た営業・開発体制の再構築に時間がかかり、顧客開拓が遅れたこと
- ② 昨年度立ち上げた新サービスの進捗が遅れ、立ち上げに伴う赤字負担も重くなったこと
- ③ 開発遅延プロジェクトの収束が遅れ、①と合わせ、人材の育成や中途採用者の早期稼働に影響を与えたこと

このような状況を鑑み、当社は平成28年10月1付で改革的な組織変更を行っております。経営の意思決定のスピードを上げるため、「デジタルビジネス事業本部」と「コーポレート本部」の2本部制とするとともに、デジタル事業本部においては、製販一体の体制を一部採用し、営業力とサービス力の向上、またマネジメント単位の細分化による組織管理、品質管理、人材育成の強化を進めております。また、平成28年12月1日付で、Web制作・運用サービスを行うネットイヤークラフト株式会社（当社の100%子会社）を吸収合併し、製販一体体制の一層の強化をはかって行く予定です。

### 3. 役員報酬カットについて

通期営業損失見通しの結果を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、平成28年10月31日開催の取締役会において、以下のとおり役員報酬の一部カットを決定いたしました。

- ・代表取締役 石黒不二代 月額報酬の30%（平成28年11月より平成29年6月まで）

### 4. 配当

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的で継続的な配当を行なっていくことを基本方針としており、配当予想につきましては、当初の予定どおり、1株当たり年間3.25円を予定しております。

（業績予想について）

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上